

平成 27 年度

事業報告書

決算書

目 次

I - I. 平成 27 年度事業報告書	
1. 事業概況（平成 27 年度を振り返って）	3
2. 総 裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	5
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 戦後日本のイノベーション 100 選	7
10. 青少年創造性開発育成事業	7
(1) 第 74 回全日本学生児童発明くふう展	7
(2) 第 37 回未来の科学の夢絵画展	8
(3) 少年少女発明クラブ事業	8
(4) 地域活性化アイデア創作活動の実施	9
(5) 第 6 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	10
(6) 第 59 回東京都児童生徒発明くふう展	10
(7) 青少年創造性開発育成海外交流	10
(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	11
(9) 青少年創造性開発育成委員会	11
(10) 青少年の創造性開発育成事業に対する協賛制度	11
11. 知的財産権制度普及等事業	11
国際知的財産保護フォーラム	11
12. 地域機関との相互連携	11
発明協会会長等懇談会（8 地方ブロック）	11
13. 関係省庁への協力	12
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	12
(2) 特許庁知財功労賞への協力	12
14. 東京発明推進協議会	12
15. 公益事業の広報活動	12
I - II. 事業報告書の附属明細書	
事業報告書の附属明細書	13
II. 平成 27 年度決算書	
貸借対照表	15
正味財産増減計算書	16
正味財産増減計算書内訳表	17
財務諸表に対する注記	18
附属明細書	19
財産目録	20
収支計算書	22
収支計算書（資金ベース）	23

I. 平成 27 年度事業報告書

1. 事業概況（平成 27 年度を振り返って）

当協会は、我が国に活力を与える発明やイノベーションを支援すべく、科学技術の振興に向けた発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を積極的に推進した。

平成 27 年度においても、皇室より御下賜金を拝受し、全国発明表彰においては恩賜発明賞を、全日本学生児童発明くふう展においては恩賜記念賞をそれぞれ最も優秀な発明及び作品に贈呈した。また、発明奨励振興事業においては、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に寄与すべく、全国発明表彰及び地方発明表彰を実施した。更に青少年創造性開発育成事業においては、全日本学生児童発明くふう展及び未来の科学の夢絵画展を開催するとともに、全国に展開している少年少女発明クラブの活動及び全国少年少女チャレンジ創造コンテストの拡充・強化を図った。なお、青少年創造性開発育成事業に対する協賛制度においては平成 27 年度も数多くの企業より協賛を得ることができた。

また、創立 110 周年記念事業「戦後日本のイノベーション 100 選」においては、第 2 回発表に向けて選定作業等を行った。

以下、平成 27 年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常 陸 宮 殿 下

3. 役 員 構 成 （平成 28 年 3 月 31 日現在）

会 長	1 名	（代表理事）
副 会 長	6 名	（内 1 名代表理事）
専務理事	1 名	（業務執行理事）
常務理事	1 名	（業務執行理事）
理 事	33 名	
監 査 役	2 名	
特別顧問	2 名	
顧 問	4 名	
参 与	3 名	
幹 事	155 名	

4. 会 員 数 （平成 28 年 3 月 31 日現在）

450 名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 平成 27 年 6 月 17 日 (水) 13 : 15 ~ 14 : 00
場 所 ホテルオークラ東京 別館地下 2 階「アスコットホールⅡ」
議 題 <決議事項>
第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 理事及び監査役選任の件
<報告事項>
平成 27 年度事業計画及び同収支予算報告の件

(2) 理事会

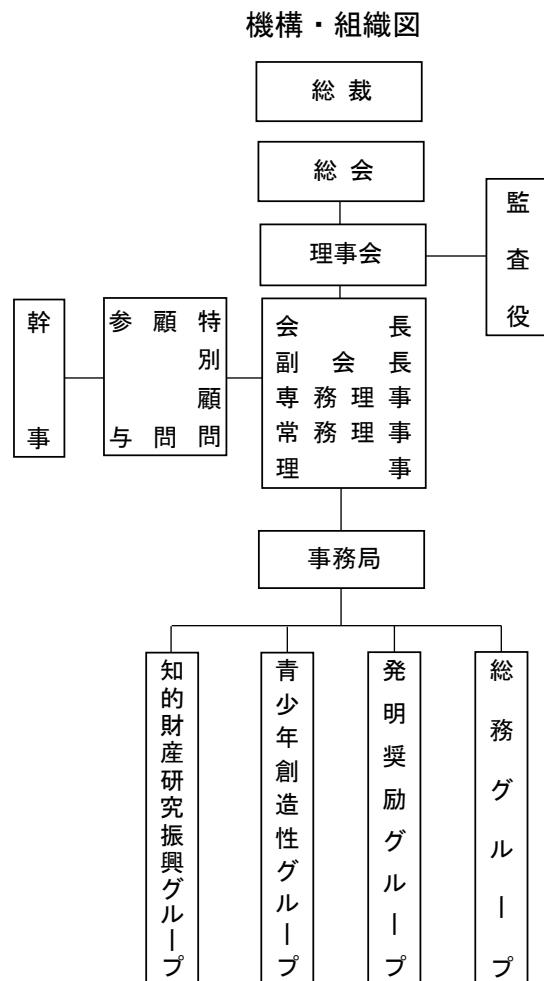
- ① 日 時 平成 27 年 5 月 19 日 (火) 12 : 20 ~ 13 : 30
場 所 ホテルオークラ東京 本館 2 階「エメラルドルーム」
議 題 (1) 平成 26 年度事業報告及び決算 (案) について
(2) 理事及び監査役選任 (案) について
(3) 定時総会の招集 (案) について
(4) 幹事の推薦について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況の報告について
(2) 一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入について
(3) 平成 26 年度 青少年創造性開発育成事業に対する協賛企業一覧について
(4) 平成 27 年度 (公財) JKA 補助事業について
- ② 日 時 平成 27 年 6 月 17 日 (水) 14 : 05 ~ 14 : 15
場 所 ホテルオークラ東京 別館地下 2 階「アスコットホールⅢ」
議 題 (1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について
(2) 代表理事の選定について
(3) 顧問の推薦について
(4) 幹事の推薦について
- ③ 日 時 平成 28 年 3 月 22 日 (火) 12 : 20 ~ 13 : 20
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 (1) 平成 28 年度事業計画・同収支予算 (案) について
(2) 理事の職務権限規程の改正について
(3) 特定費用準備資金等取扱規程の制定について
(4) 未来の科学の夢絵画展「ネット美術館」について
報告事項 代表理事等の職務執行状況の報告について
- ④ 理事会の省略による決議の方法により、当該議案が議決された。
議 案 参与の推薦
決議日があったものと見なされた日 平成 27 年 11 月 30 日 (月)
- 議 案 未来の科学の夢絵画展「ネット美術館 (仮称)」WEB サイトの開設に
係る変更認定申請の件
決議日があったものと見なされた日 平成 28 年 1 月 8 日 (金)

6. 登記事項

理事変更登記
理事変更登記

平成 27 年 8 月 17 日 (月)
平成 27 年 12 月 9 日 (水)

7. 組織及び職員数 (平成 28 年 3 月 31 日現在)



職員数 18名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

平成 27 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を、また、第 74 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品の創作者に恩賜記念賞を贈り、その栄誉をたたえた。

○恩賜発明賞 「燃料電池を急速暖機する制御方法の発明」

真鍋 晃太 トヨタ自動車株式会社

今西 啓之 トヨタ自動車株式会社

小川 朋也 トヨタ自動車株式会社

○恩賜記念賞 「無針弧ンパス」

道脇 愛羽 私立聖徳学園小学校 2 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

主催 (公社) 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

本年度は、46 道府県における発明協会(以下、「地域協会」という。)、企業、関係団体等からの推薦により、平成 27 年 2 月 3 日(火)から 2 月 26 日(木)にかけて意匠・化学・電気・機械及び 21 世紀専門部会を開催し、平成 27 年 4 月 14 日(火)の選考委員会において審査を行い、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣発明賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として 21 世紀発明賞及び 21 世紀発明奨励賞を選考した。

また、恩賜発明賞、内閣総理大臣発明賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、21 世紀発明奨励賞を受賞した法人の代表者に 21 世紀発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

表彰式は、平成 27 年 6 月 17 日(水)ホテルオークラ東京において、総裁常陸宮殿下並びに同妃殿下御臨席のもと、杉田内閣官房副長官、藤井文部科学副大臣、伊藤特許庁長官をはじめとする来賓や各界から多数の参列者を得て挙行了した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞 1 件 3 名 特別賞 9 件 27 名 発明賞 12 件 42 名

発明実施功績賞 9 件 9 名

○第 2 表彰区分

21 世紀発明賞 2 件 7 名

21 世紀発明奨励賞 2 件 5 名

21 世紀発明貢献賞 2 件 2 名

○発明奨励功労賞 10 名

なお、恩賜発明賞の受賞者には畠山一清賞を贈呈し、特別賞、21 世紀発明賞及び 21 世紀発明奨励賞受賞者にはそれぞれ副賞を贈呈した。

(2) 地方発明表彰

主催 (公社) 発明協会
共催 46 道府県発明協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、岩手県、
栃木県、富山県、大阪府、山口県、徳島県、福岡県、日本弁理士会、
(一財) 工業所有権電子情報化センター

本年度は、地域協会から多数推薦された中から、平成 27 年 7 月 23 日 (木) に開催した中央選考委員会及び 8 月中旬から 9 月上旬にかけて各地方で開催した地方選考委員会において各賞を選考した。

表彰式は、平成 27 年 10 月中旬から 11 月中旬にかけて以下のとおり挙行し、計 481 件、1,403 名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10 月 30 日 (金)	北海道函館市
・東北地方発明表彰式	11 月 6 日 (金)	岩手県盛岡市
・関東地方発明表彰式	11 月 13 日 (金)	栃木県宇都宮市
・中部地方発明表彰式	11 月 18 日 (水)	富山県富山市
・近畿地方発明表彰式	10 月 20 日 (火)	大阪府大阪市
・中国地方発明表彰式	11 月 5 日 (木)	山口県山口市
・四国地方発明表彰式	10 月 26 日 (月)	徳島県徳島市
・九州地方発明表彰式	11 月 11 日 (水)	福岡県福岡市

(3) 戦後日本のイノベーション 100 選

戦後日本で成長を遂げ、我が国産業経済の発展に大きく寄与したイノベーション 100 選に関し、平成 26 年度の第 1 回発表 (高度経済成長期までの 38 イノベーション) に引き続き、高度経済成長期以降のイノベーション候補を中心に所要の審議を実施した。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 第 74 回全日本学生児童発明くふう展

主催 (公社) 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、
(公財) 日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、
全日本中学校長会、全国高等学校長協会、(公社) 全国工業高等学校長協会

本年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品を中心に地域協会より推薦された 761 点の作品について、平成 28 年 1 月 7 日 (木) に審査幹事会、1 月 26 日 (火) に審査委員会を開催して審査を行い、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 28 年 3 月 23 日 (水) から 3 月 27 日 (日) まで、東京・北の丸公園内の科学技術館イベントホールにおいて開催した。

表彰式は、平成 28 年 3 月 23 日（水）科学技術館「サイエンスホール」において、総裁常陸宮殿下並びに同妃殿下御臨席のもと、豊田文部科学大臣政務官、伊藤特許庁長官をはじめ来賓多数の参列を得て挙行了。

また、同展の開催にあわせて協賛企業等の協力により発明教室等を開催し、多数の児童生徒が創作活動に親しんだ。

・第 74 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 121 点

(2) 第 37 回未来の科学の夢絵画展

主催 (公社) 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、(公社) 日本美術教育連合、(公財) 美育文化協会

本年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒を対象に作品を募集し、10,394 点の応募があった。平成 27 年 2 月 18 日（水）に審査委員会を開催して審査を行い、文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 27 年 4 月 14 日（火）から 4 月 26 日（日）にかけて東京上野・国立科学博物館において開催した。

表彰式は、平成 27 年 4 月 24 日（金）国立科学博物館日本館講堂において、文部科学省より黒澤振興企画課奨励室長、特許庁より渚上総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て挙行了。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 49 点 ○奨励賞 73 点

・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 40 点

・「外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 10 点

(3) 少年少女発明クラブ事業

① 少年少女発明クラブ

次の世代を担う有為な人材の育成を図るため、平成 27 年度は、全国 218 ヶ所の発明クラブ（約 8,500 名のクラブ員、約 2,300 名の指導員）において創造性を育成する活動を行った。

② 全国少年少女発明クラブ創作展

平成 27 年 10 月 24 日（土）、25 日（日）の二日間、徳島県徳島市・アスティとくしまにおいて「全国少年少女発明クラブ創作展」を開催した（来場者数 約 6,000 人）。

③ 第 77 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、効果的な指導方法に関する

る情報交換等を目的とした全国会議を徳島県徳島市で開催した。併せて、「少年少女発明クラブ創作展」の視察を行った。

- ・開催日：平成 27 年 10 月 24 日（土）～25 日（日）
- ・会 場：阿波観光ホテル（全国会議）、アスティとくしま（創作展視察）
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 163 名

④ 第 78 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、青少年の創造性開発育成に関する諸課題について研究・討議する全国会議を開催した。

- ・開催日：平成 28 年 2 月 26 日（金）
- ・会 場：発明会館ホール
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 151 名

⑤ 少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導活動に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員を表彰した。指導員表彰第 3 回目の今回は、40 の発明クラブの 97 名の方々を対象に、第 78 回少年少女発明クラブ全国会議において表彰を行った。

⑥ 少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を図るため、ブロック別研修会（6 ブロック）及び都道府県別研修会（10 箇所）を開催した。

⑦ 少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑧ 「はつめいキッズ」ホームページの運営

少年少女発明クラブをはじめとした青少年創造性開発育成事業全般を紹介し、青少年の創造性開発育成の普及を図ることを目的に、ホームページ「はつめいキッズ」の運営を行った。

* 本事業の①、②、③、⑥、⑦、⑧については、（公財）JKA 補助事業の一部として実施した。

（4）地域活性化アイデア創作活動の実施

本年度は、富山県砺波市の知名度向上を目的に、砺波市少年少女発明クラブ員が地元砺波の名物・行事を紹介する PR 作品を制作し、「となみ産業パワー博」にて発表を行った。

* 本事業は、（公財）JKA 補助事業の一部として実施した。

(5) 第6回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

主催 (公社) 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、読売新聞社、
全国連合小学校長会、全日本中学校長会
特別協賛 株式会社荏原製作所

3人一組で課題に取り組む本コンテストにおいて、「からくりパフォーマンスカー」をテーマに、全国82地域で地区大会を開催した(660チーム(1,980人)が参加)。地区大会の結果を踏まえ、平成27年9月24日(木)に開催したコンテスト委員会において全国大会に出場する60チームを選考した。

全国大会は、平成27年11月28日(土)東京工業大学屋内運動場(東京都目黒区)において開催し、文部科学大臣賞、特許庁長官賞の特別賞ほか各賞を選考し、競技終了後引き続き、関係官庁、関係団体等の参列を得て表彰式を挙行了。

- ・第6回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト入賞チーム
 - 特別賞 2チーム
 - 優秀賞 9チーム

*本事業は、(公財)JKA補助事業の一部として実施した。

(6) 第59回東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの受託事業として、第59回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は東京都議会議事堂1階都政ギャラリーにおいて平成27年12月9日(水)～12日(土)にかけて開催し、特別賞12点、優秀賞22点、入選56点の計90点を展示した。

表彰式は、平成27年12月12日(土)都議会議事堂1階都民ホールにおいて開催した。

(7) 青少年創造性開発育成海外交流

①青少年創造性開発海外交流台湾派遣団

国立台湾師範大学の招聘により、平成27年11月14日(土)から11月20日(金)にかけて、第72回全日本学生児童発明くふう展、第37回未来の科学の夢絵画展及び第4回全国少年少女チャレンジ創造コンテストの各事業において優秀な成績を収めた青少年と当協会職員の計17名による「青少年創造性開発育成海外交流台湾派遣団」を結成し、新北市で開催された「2015世界青少年発明工夫展」に参加した(参加:9ヶ国・地域、創作品107作品、絵画30作品)。

②2015発明奨励国際フォーラム

発明奨励団体間の国際的連携の促進を目的に、平成27年11月16日(月)に、台湾・新北市で開催された2015発明奨励国際フォーラム(International Forum for Invention Promotion: IFIP)に当協会役員を派遣した(参加:9ヶ国・地域)。

*本事業は、(公財)JKA補助事業の一部として実施した。

(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（平成 27 年 4 月 18 日）及び科学技術週間（平成 27 年 4 月 13 日～19 日）協賛事業として、当協会、地域協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展、無料発明相談会等各種の協賛事業を行った。

(9) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第 35 回青少年創造性開発育成委員会」を平成 28 年 3 月 7 日（月）に発明会館会議室において開催した。

(10) 青少年の創造性開発育成事業に対する協賛制度

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

平成 27 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー企業 11 社
- ・シルバースポンサー企業 10 社
- ・ブロンズスポンサー企業 22 社
- ・寄付企業 5 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）第 4 プロジェクトの幹事機関として、平成 27 年 7 月 18（土）に東京都中央区教育センターにおいて「出張 IP カルチャー教室」の開催及び「真正品、模倣品・海賊版の展示」を実施した。また、平成 27 年 9 月 19 日（土）に東京都中央区教育センターにおいて、平成 28 年 3 月 23 日（水）～27 日（日）に第 74 回全日本学生児童発明くふう展会場においてそれぞれ「真正品、模倣品・海賊版の展示」を行った。

12. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会（8 地方ブロック）

全国で開催される地方発明表彰式にあわせ、平成 27 年 10 月中旬から 11 月中旬にかけて地域協会会長等との懇談会を開催し意見交換を行った。

懇談会は、北海道地方・10 月 30 日（金）、東北地方・11 月 6 日（金）、関東地方・11 月 13 日（金）、中部地方・11 月 18 日（水）、近畿地方・10 月 20 日（火）、中国地方・11 月 5 日（木）、四国地方・10 月 26 日（月）、九州地方・11 月 11 日（水）の日程で開催した。

13. 関係省庁への協力

(1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章並びに科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、研究部門、技術部門等）の表彰対象者の調査並びに推薦を行った。

(2) 特許庁知財功労賞への協力

経済産業省・特許庁が実施した「知的財産権制度関係功労者表彰」並びに「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の表彰対象者等の調査並びに推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会

平成 28 年 1 月 18 日（月）に新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

15. 公益事業の広報活動

当協会が行う各種公益事業について掲載する機関紙「月報はつめい」を配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

I - II. 事業報告書の附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 28 年 5 月
公益社団法人 発明協会

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	99,398,551	108,418,216	△ 9,019,665
未収入金	22,433,828	23,742,256	△ 1,308,428
預け金	2,983,705	3,836,434	△ 852,729
前払費用	1,062,153	1,062,153	0
流動資産合計	125,878,237	137,059,059	△ 11,180,822
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
世界展開催事業積立資産	20,000,000	0	20,000,000
青少年創造特定資産	6,000,000	4,000,000	2,000,000
退職給付引当資産	18,000,000	13,500,000	4,500,000
特定資産合計	44,000,000	17,500,000	26,500,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	44,000,000	17,500,000	26,500,000
資産合計	169,878,237	154,559,059	15,319,178
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	10,500,531	10,311,130	189,401
未払金	87,056,925	97,956,183	△ 10,899,258
前受金	11,920,000	11,690,000	230,000
預り金	630,939	589,406	41,533
流動負債合計	110,108,395	120,546,719	△ 10,438,324
2. 固定負債			
退職給付引当金	18,000,000	13,500,000	4,500,000
固定負債合計	18,000,000	13,500,000	4,500,000
負債合計	128,108,395	134,046,719	△ 5,938,324
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
寄付金	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	41,769,842	20,512,340	21,257,502
(うち特定資産への充当額)	(26,000,000)	(4,000,000)	(22,000,000)
正味財産合計	41,769,842	20,512,340	21,257,502
負債及び正味財産合計	169,878,237	154,559,059	15,319,178

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	33,030,000	33,560,000	△ 530,000
(3) 事 業 収 益	3,435,648	3,422,318	13,330
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益	(3,435,648)	(3,422,318)	(13,330)
(4) 受 取 補 助 金 等	21,713,828	21,223,666	490,162
① J K A 補 助 金	(21,713,828)	(21,223,666)	(490,162)
(5) 受 取 寄 付 金 ・ 受 取 協 賛 金 等	279,777,220	262,237,904	17,539,316
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金 収 益	(89,219,220)	(71,706,904)	(17,512,316)
② 資 金 寄 付 振 替 額	(20,290,000)	(20,263,000)	(27,000)
③ 特 定 寄 付 収 益	(170,268,000)	(170,268,000)	(0)
(6) 雑 収 益	194,433	106,644	87,789
経 常 収 益 計	338,201,129	320,600,532	17,600,597
2. 経常費用			
(1) 事 業 費	284,213,951	276,703,043	7,510,908
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費	(166,149,819)	(155,620,362)	(10,529,457)
② 事 業 人 件 費	(91,542,036)	(98,769,939)	(△ 7,227,903)
③ 事 業 事 務 費	(26,522,096)	(22,312,742)	(4,209,354)
(2) 管 理 費	32,729,676	44,752,608	△ 12,022,932
① 人 件 費	(8,482,628)	(10,121,912)	(△ 1,639,284)
② 事 務 費	(24,247,048)	(34,630,696)	(△ 10,383,648)
経 常 費 用 計	316,943,627	321,455,651	△ 4,512,024
当 期 経 常 増 減 額	21,257,502	△ 855,119	22,112,621
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	21,257,502	△ 855,119	22,112,621
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	20,512,340	21,367,459	△ 855,119
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	41,769,842	20,512,340	21,257,502
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	20,290,000	20,263,000	27,000
① 資 金 寄 付	20,290,000	(20,263,000)	(27,000)
(2) 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 20,290,000	△ 20,263,000	△ 27,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	41,769,842	20,512,340	21,257,502

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0	0	50,000
(2) 受取会費	16,515,000	16,515,000	16,515,000	0	33,030,000
(3) 事業収益	3,435,648	3,435,648	0	0	3,435,648
① 発明奨励等事業収益	(3,435,648)	(3,435,648)	()	()	(3,435,648)
(4) 受取補助金等	21,713,828	21,713,828	0	0	21,713,828
① JKA補助金	(21,713,828)	(21,713,828)	()	()	(21,713,828)
(5) 受取寄付金・受取協賛金等	262,499,475	262,499,475	17,277,745	0	279,777,220
① 受取寄付・協賛金収益	(85,504,960)	(85,504,960)	(3,714,260)	()	(89,219,220)
② 資金寄付振替額	(20,290,000)	(20,290,000)	(0)	()	(20,290,000)
③ 特定寄付収益	(156,704,515)	(156,704,515)	(13,563,485)	()	(170,268,000)
(6) 雑収益	0	0	194,433	0	194,433
経常収益計	304,213,951	304,213,951	33,987,178	0	338,201,129
2. 経常費用					
(1) 事業費	284,213,951	284,213,951	0	0	284,213,951
① 発明奨励等事業費	(166,149,819)	(166,149,819)	(0)	()	(166,149,819)
② 事業人件費	(91,542,036)	(91,542,036)	(0)	()	(91,542,036)
③ 事業事務費	(26,522,096)	(26,522,096)	(0)	()	(26,522,096)
(2) 管理費	0	0	32,729,676	0	32,729,676
① 人件費	()	(0)	(8,482,628)	()	(8,482,628)
② 事務費	()	(0)	(24,247,048)	()	(24,247,048)
経常費用計	284,213,951	284,213,951	32,729,676	0	316,943,627
当期経常増減額	20,000,000	20,000,000	1,257,502	0	21,257,502
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替高	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	20,000,000	20,000,000	1,257,502	0	21,257,502
一般正味財産期首残高	0	0	20,512,340	0	20,512,340
一般正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	21,769,842	0	41,769,842
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄付金	20,290,000	20,290,000	0	0	20,290,000
① 資金寄付	(20,290,000)	(20,290,000)	()	()	(20,290,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 20,290,000	△ 20,290,000	0	0	△ 20,290,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,000,000	20,000,000	21,769,842	0	41,769,842

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
世界展開催事業積立資産	0	20,000,000	0	20,000,000
青少年創造特定資産	4,000,000	2,000,000	0	6,000,000
退職給付引当資産	13,500,000	4,500,000	0	18,000,000
合 計	17,500,000	26,500,000	0	44,000,000

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
世界展開催事業積立資産	20,000,000	(—)	(20,000,000)	(—)
青少年創造特定資産	6,000,000	(—)	(6,000,000)	(—)
退職給付引当資産	18,000,000	(—)	(—)	(18,000,000)
合 計	44,000,000	(0)	(26,000,000)	(18,000,000)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
平成27年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	21,713,828	21,713,828	0	
合 計		0	21,713,828	21,713,828	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
資金寄付振替額	20,290,000
合 計	20,290,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	13,500,000	4,500,000	0	0	18,000,000

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現 金	手元保管	運転資金として	2,488,627
預 金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	32,947,680
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	59,539,555
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,000,347
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	1,837,006
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	1,585,336
未 収 入 金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	22,433,828
預 け 金	札幌中島少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費として	2,983,705
前 払 費 用	株式会社発明会館	借室料として	1,062,153
流 動 資 産 合 計			125,878,237
(固定資産)			
特定資産			
世界展開催事業積立資産	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	世界展開催に係る特定費用準備資金	20,000,000
青少年創造特定資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	青少年創造性育成開発	6,000,000
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	18,000,000
特 定 資 産 合 計			44,000,000
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固 定 資 産 合 計			44,000,000
資 産 合 計			169,878,237
(流動負債)			
買 掛 金	株式会社シグマコミュニケーションズ他	公益目的事業に係る展示設営費他	10,500,531
未 払 金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業に係る出向料他	87,056,925
前 受 金	会員他	公益目的事業に係る会費他	11,920,000
預 り 金	芝税務署他	公益目的事業に係る所得税他	630,939
流 動 負 債 合 計			110,108,395
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	18,000,000
固 定 負 債 合 計			18,000,000
負 債 合 計			128,108,395
正 味 財 産			41,769,842

収 支 計 算 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	33,560,000	33,030,000	530,000
(3) 事 業 収 益	3,487,000	3,435,648	51,352
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益	(3,487,000)	(3,435,648)	(51,352)
(4) 受 取 補 助 金 等	17,783,000	21,713,828	△ 3,930,828
① J K A 補 助 金	(17,783,000)	(21,713,828)	(△ 3,930,828)
(5) 受 取 寄 付 金 ・ 受 取 協 賛 金 等	274,268,000	279,777,220	△ 5,509,220
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金 収 益	(81,000,000)	(89,219,220)	(△ 8,219,220)
② 資 金 寄 付 振 替 額	(23,000,000)	(20,290,000)	(2,710,000)
③ 特 定 寄 付 収 益	(170,268,000)	(170,268,000)	(0)
(6) 雑 収 益	100,000	194,433	△ 94,433
経 常 収 益 計	329,248,000	338,201,129	△ 8,953,129
2. 経常費用			0
(1) 事 業 費	301,639,000	284,213,951	17,425,049
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費	(175,614,000)	(166,149,819)	(9,464,181)
② 事 業 人 件 費	(99,429,000)	(91,542,036)	(7,886,964)
③ 事 業 事 務 費	(26,596,000)	(26,522,096)	(73,904)
(2) 管 理 費	31,137,000	32,729,676	△ 1,592,676
① 人 件 費	(8,733,000)	(8,482,628)	(250,372)
② 事 務 費	(22,404,000)	(24,247,048)	(△ 1,843,048)
経 常 費 用 計	332,776,000	316,943,627	15,832,373
当 期 経 常 増 減 額	△ 3,528,000	21,257,502	△ 24,785,502
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 3,528,000	21,257,502	△ 24,785,502
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	20,512,340	20,512,340	0
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	16,984,340	41,769,842	△ 24,785,502
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	23,000,000	20,290,000	2,710,000
① 資 金 寄 付	23,000,000	(20,290,000)	(2,710,000)
(2) 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 23,000,000	△ 20,290,000	△ 2,710,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	16,984,340	41,769,842	△ 24,785,502

収 支 計 算 書(資金ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
	I 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
1	(1)御 下 賜 金	50,000	50,000	0
2	(2)会 費 収 入	33,560,000	33,030,000	530,000
3	(3)事 業 収 入	3,487,000	3,435,648	51,352
4	① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 入 (3,487,000) (3,435,648) (51,352)
5	(4)補 助 金 等 収 入	17,783,000	21,713,828	△ 3,930,828
6	① J K A 補 助 金 収 入 (17,783,000) (21,713,828) (△ 3,930,828)
7	(5)寄 付 金 ・ 協 賛 金 収 入	274,268,000	279,777,220	△ 5,509,220
8	① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金 収 入 (104,000,000) (109,509,220) (△ 5,509,220)
9	② 特 定 寄 付 収 入 (170,268,000) (170,268,000) (0)
10	(6)雑 収 入	100,000	194,433	△ 94,433
11	事業活動収入計	329,248,000	338,201,129	△ 8,953,129
	2. 事業活動支出			
12	(1)事 業 費 支 出	298,228,000	280,852,451	17,375,549
13	① 発 明 奨 励 振 興 事 業 支 出 (175,614,000) (166,149,819) (9,464,181)
14	② 事 業 人 件 費 (99,429,000) (91,542,036) (7,886,964)
15	③ 事 業 事 務 費 (23,185,000) (23,160,596) (24,404)
16	(2)管 理 費 支 出	30,048,000	31,591,176	△ 1,543,176
17	① 人 件 費 (8,733,000) (8,482,628) (250,372)
18	② 事 務 費 (21,315,000) (23,108,548) (△ 1,793,548)
19	事業活動支出計	328,276,000	312,443,627	15,832,373
20	事業活動収支差額	972,000	25,757,502	△ 24,785,502
	II 投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
21	投資活動収入計	0	0	0
	2. 投資活動支出			
22	(1)特 定 資 産 支 出	2,000,000	26,500,000	△ 24,500,000
23	投資活動支出計	2,000,000	26,500,000	△ 24,500,000
24	投資活動収支差額	△ 2,000,000	△ 26,500,000	24,500,000
25	当期収支差額	△ 1,028,000	△ 742,498	△ 285,502
26	前期繰越収支差額	16,512,340	16,512,340	0
27	次期繰越収支差額	15,484,340	15,769,842	△ 285,502

以上の通り相違ありません。

平成28年5月17日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 庄 山 悦 彦

平成27年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ
適法であることを認めます。

平成28年5月17日

監査役 梶 原 徳 二

監査役 安 井 義 博